

# べんがらの

# 灯り、 幾千

第1回若狭町まつり

## 若祭

WAKASAI

鳥浜貝塚出土の櫛、十善の森古墳石室の壁、熊川宿の格子戸…  
古くから伝わる五穀豊穡や災難消除を願う色——べんがら。  
その彩りは、はるか一万年の時を超えてわたしたちを魅了しています。  
自然の恵みとここに住むわたしたちが主役となり、  
べんがらの灯りとともに、未来へ導く希望を輝かせます。

9月20日、縄文ロマンパークで第1回若狭町まつり「若祭」が開催されました。このまつりは、「若狭縄文まつり」や「若狭瓜割名水まつり」を見直し、一つの町で一つのまつりが望ましいと今回新たに企画したものです。

参加者の手作りでの幻想的な灯りをともし「べんがら和灯籠」や音とレーザーと花火の競演「べんがらファンタジー」、べんがらの彩を競う「ゆかたコンテスト」が行われたほか、新米おにぎりや朝どれ鮮魚のさしみが振る舞われ、大勢の来場者で賑わいました。

べんがら

赤褐色の顔料。主成分は酸化鉄。古代から使われ、着色力、耐久性に優れ、無毒で用途は多い。



▲オープニングでメッセージ風船リリース



こころ、つなげ、彩る  
べんがら和灯笼



五湖レンジャー 見参



名水ライダー  
登場

子どもたちに大人気の「レインボー戦隊五湖レンジャー」、「瓜割名水ライダー」。



ここち良いハワイアンサウンドにうっとり。「ワカサアイナ」フラダンスチーム。

# べんがら ゆかた美



グランプリ  
富永麻美子さん



第1回若狭町まつり

若狭べん

時空を超えてつ



子どもたちが  
オープニングコール

ゆかたキッズショー

出番前、準備OK



決定

グランプリに富永麻美子さん（末野）（左）  
準グランプリに赤尾亜沙美さん（田井野）

# 人コンテスト



ゆかたや飾りにべんがらをあしらい、着こなしや立ち居振る舞いなどを競うコンテスト。町内などから25人が出場。衣料店ご主人や女性ネットワーク会長など4人が審査にあたり、グランプリと準グランプリが選ばれました

# がら物語 若祭

つながる、炎。



YOSAKOI

嶺南地域から8チームが出場  
最後は会場全体が踊りの輪に



バンドライブ

地元で活躍しているバンドのライブに3組が熱唱



屋台

野菜に、お米に、魚に、果物  
... 地元の旬の食が勢ぞろい



新米おにぎり

瓜割名水で炊き上げた新米おにぎり。梅干し、へしこ味でどうぞ。



わかた鍋

野菜とお肉を瓜割名水でじっくり煮込んだ豚汁風の鍋のサービスに長い列。



若狭大漁まつり

大敷網にかかった今朝どれの鮮魚を漁師がさばいてお刺身で大判振る舞い。



うなぎ

つかみ取り競争

ぬるぬる、ツルツル、元気なうなぎ。豆しばりを巻いて、腰につけたピックにつかみとれ！

# 種を飛ばして 皮をむいて 世界に挑戦

## 梅干の種飛ばし

特産福井梅干しをまるごと一個食べて、大きく息を吸って種をプーッ！  
最高記録は10m70cm、世界記録15m26cmに及ばず。



## 梨の皮むき



岩屋特産の梨の皮を途中で切れないようにどれだけ長くむけるかな？優勝者は2m92cm、その包丁さばき、お見事。

ウキウキ  
ときどき

# ワークフェア



"若祭"会場に隣接する三方青年の家では、ワークフェアが今回初めて開催され、町内企業13社が出展しました。

3Dテレビ、大型トラック、ウェディングドレス、LED、発電機などが展示され、普段はなかなか目にする事のない町内の優れた工業製品や技術に触れることができました。

このほか、巨大迷路や、巨大すべり台、わたがしづくり体験などが行われ、大勢の家族連れで賑わいました。

3D

LED

Dress



巨大迷路



つみき広場



巨大すべり台



# まなざし その瞳に...

# 情熱 実行委員



# 若祭

WAKASAI



実行委員会  
部会長

倉谷 明さん(上野木)

縄文とも名水とも違う新たなまつりを目指し、開催した「若祭」。

実行委員やその仲間が30人を超え、大勢集まってくれました。スタッフは当日の運営はもちろん、企画から参加し、知らないもの同士が融和を図るまつり、みんなが力を合わせたまつりになったと思います。

また「べんがら」に象徴されるように地元になんだ温もりと情熱あるイメージカラーを見出すことができました。灯籠づくりには、地元保育園児をはじめ、当日1,000人を超える参加があり、新たな絆が生まれたことに達成感を感じています。

住民参加型のまつりとして次の世代にも伝えていきたいと思います。

ご意見をお聞かせください



音と光の競演

第1回若狭町まつりー若祭ーについてのご意見、ご感想をお寄せください。メール、ファックス、電話など方法、様式は問いません。

今後のイベントの企画・運営の参考にさせていただきます。

●観光交流課



メール  
TEL 45-9111  
FAX 45-1115



結びを飾る花火

